

平成 27 年度第 4 回逗子市総合計画審議会 会議概要

日時：平成28年 2 月23日（火）18:00～20:35

場所：逗子市役所 5 階 会議室

【委員】出石会長、木村副会長、稲委員、窪田委員、長島委員、橋本委員、三原委員、山口委員、池谷委員、佐野委員、山西委員、柳沢委員

【事務局】和田経営企画部長、芳垣経営企画部次長、福本企画課長、仁科企画課主幹、山道主事（記録）

欠席者：1 名（倉田委員）

傍聴者：3 名

【使用した資料】

資料 1) 逗子市総合計画基本計画2014達成状況及び評価

資料 8) 新・総合計画体系下における総合計画・基幹計画・個別計画の進行管理

資料 9) 進行管理シート（案）

資料10) 総合計画におけるリーディング事業の進行管理について

【議事概要】

1. 開会

2. 前総合計画後期基本計画の評価について（審議）

- 前総合計画後期基本計画の評価について、資料 1 の 28 ページ以降について意見交換を行った。
- 審議会が出された意見を受けて、事務局と会長・副会長が調整して答申案を作成することとした。その段階で一度各委員に送付し、内容確認していただいた上で、答申として確定させることとした。

3. 平成28年度からの総合計画の進行管理について（審議）

- 資料 8、9 をもとに、総合計画における進行管理の方法について事務局から説明を行った。
- 各委員から次のような意見があり、それらをもとに事務局で進行管理シートの修正案を作成し、会長・副会長と調整して次回の資料とすることとした。

＜事業進行管理票について＞

- ◇ 個別計画同士がうまく連携すると相乗効果が出るようなことは、できるだけやったほ

うがよい。そういうことを積極的に評価してあげたほうがよい。

- ◇ 施策体系の違うところが思いがけず他のところと連携するとうまくいくということもあるはずなので、そういうことをうまく刺激するほうがよい。
- ◇ 個別計画のシートの中に、今までの縦系列の視野からは外れたような、思いがけない連携が発生した場合には、プラス評価をしてあげるような評価欄を用意するのがよい。

<各シートの記載欄について>

- ◇ 4年後あるいは8年後に実施計画の見直しのチャンスがあるとすれば、そのときに生かしたいというようなアイデアなり提案なりというものが、今まで以上に出てくると思う。
- ◇ 現場あるいは懇話会等が評価をする際に、ゆくゆくはこういう観点で進めていったほうがよいというようなことを補足していける余地を評価シートに持っておいたらどうか。
- ◇ 横断的な取り組みのほか、情勢によってすき間が生まれてくる場合もあることから、そうしたものを備忘録として書いておける余地を評価シートに残しておいてはどうか。
- ◇ 行政の内部での自己評価に対して、審議会の委員が意見を言えるようにすれば、横のつながりとか、何かに対するサジェスションなども出やすいと思う。何か改善に向けての意見を出すということが総合計画の中でフィードバックをやっていくシステムに結びついていくべきだ。

<評価の標準化について>

- ◇ それぞれ懇話会等で基幹計画や個別計画を進行管理をする際に、多様な計画に対して評価基準を全部共通化するのはどうか。
- ◇ シートは共通化したとしても基準をどうするか。数値化、ABC評価等、評価の仕方が問題である。
- ◇ 標準的な、全般的に通ずる共通の評価指標を総合計画審議会で議論をして提示したとして、それで完全に個別の懇話会等を縛るわけではなくて、それをベースにして、個別の懇話会ごとに必要なカスタマイズをできるような形にしてはどうか。
- ◇ 全般を見ている事務局に案をつくってもらい、それを共通的なものをやっぱり議論してつくった上で、あとは計画ごとにつくり変えてもらっていいとせざるを得ないのではないか。
- ◇ 個別の懇話会等でも評価の仕方をどうするかという議論が当然ある。そうした意見もいい意味で反映させていかないといけない。先に枠組みを決められてしまうと、どうしても個別の違う観点で評価したいという立場がある。そうした部分もきちんといい意味で反映させながら、全体の評価が動いていくような流れができればよい。

- 資料10をもとに、個別計画も基幹計画もないリーディング事業の取り扱いについて事務局から説明を行った。該当する9事業については、総合計画審議会において審議することとし、会長から進行管理部会を設置することと、部会員には市民委員、すなわち公募委員と住民自治協議会から就任いただくという基本的な考え方が提案され、了解を得た。
- 資料10であげられた個別計画も基幹計画もないリーディング事業9事業のうち、「計画的なまちづくり推進事業」と「土地利用方針の調査検討」は、総合計画審議会ではなく、まちづくり審議会で行進管理すべきではないかという意見があった。これについては、事務局が担当課に確認し、次回回答することとした。
- 実施計画期間（8年間）の総合計画の進行管理と委員任期との関係がわかるトータルスケジュールを示してほしいという意見があり、次回資料として提示することとした。

4. その他

- まちづくりネットワーク会議に総合計画審議会メンバーが出席できないかという希望があった。これについては、事務局が市長の考え方も改めて確認をした上で、会長、副会長の意見を聞きながら検討することとした。
- 事務局から、次回の会議の日程については、後日調整をする旨連絡があった。

5. 閉会